

# 新・奥の細道

鼠ヶ関ルート

⑥

鮭と佐渡のみえるみち

sake-to-sato-no-mieru-michi



山形県

# GUIDE

みどころ案内

五十川駅を出ると左手に川がみえます。この川が鮭の遡上する五十川です。五十川に別れを告げ、田川炭鉱跡、小菅野代を抜けると、いよいよ温海岳を目指すこととなります。温海岳山頂付近では、日本海、佐渡を眺めることができます。温海岳からあつみ温泉までは、途中3つの滝と、つじ園、熊野神社、あつみ温泉バラ園といった観光地があります。約7時間かかる登山道ですので、脚力のある人に向けたコースです。

## 五十川の鮭

Iragawano-sake

河川漁業に関する昔の資料は、極めて少ないものの五十川流域の村には、貞享年間(1684~1687)、鮭漁などに関する約定書があり相当以前から、漁業振興は行われたようです。現在でも、五十川には多くの鮭がのぼってくるのを見ることができます。また五十川地区には「五十川鮭まつり」として、鮭の掴み取りなどのイベントを開催しています。



## 田川炭鉱跡

Tagawa-tanko-ato

昭和35年に閉山された田川炭鉱は、最盛期には4つの団地、診療所、事務所、機械工場、郵便局、発電所が立ち並び活気を呈していました。現在はそうした施設も取り壊され、跡地に杉が植林されています。僅かに選炭場、送炭場などのコンクリート土台が残っており、往時を偲ばせます。

## 温海岳

Atsumi-dake

あつみ温泉北東約2kmに、標高736mの温海岳があります。かつて芭蕉はこの山を「あつみ山や、吹浦かけて夕涼み」とよみました。また、昭和36年、昭和天皇、皇后両陛下が本町に御1泊された際に、天皇陛下は「雨けむる緑の山はしづかて庭の山かと思いきるかも」とお詠みになられました。歌碑は熊野神社境内にあります。天気が良ければ、頂上から鳥海山、庄内浜、佐渡ヶ島を眺めることができ、秋には素晴らしい紅葉を楽しむこともできます。

## 一の滝・二の滝・三の滝

Iino-taki Nino-taki Sanno-taki

温海岳からあつみ温泉まで途中から沢ぞいを辿ることとなり、3つの滝を見ることができます。標高の低いほうから順に一の滝、二の滝、三の滝と呼ばれています。美しい清水の流れがもたらす清涼感は、疲れた足に一服の清涼剤となるでしょう。



二の滝



三の滝

## あつみ温泉バラ園

Atsumi-onsen-baraen

熊野神社わきの高台にあるバラ園は、あつみ温泉街が一望出来るところにあります。見頃は、6月上旬から10月上旬で、90種、3000本の鮮やかなバラが訪れる人を魅了します。また、毎年6月に行われる「あつみ温泉バラまつり」は、30回を越え初夏のイベントとして有名です。



## 「刀匠豊前守 藤原清人」碑

Tosyobuzennokami-hujiwaranokiyohito-hi

藤原清人は、明治34年10月75歳で亡くなっています。あつみ温泉で生まれ育ち、鍛冶を職業としていましたが、清人26歳の時腕を磨き立派な刀工になりたいと願ひ、江戸に出て名刀匠山浦清磨に入門しました。その後、江戸神田に開業し名が広まり、慶応3年(1867)6月、京都の御鍛冶所三品近江守に入門し、同年7月「豊前守 藤原清人」の宣旨を下されました。清人は、刀匠として、最高の名誉を得たのです。このように、わずか3年たらずで大成した清人の精進と努力からは、庄内人の辛抱強さと、彼のひたむきな人間性を知ることが出来ます。のち、昭和47年7月、清人の功績を後世に顕彰するため、熊野神社参道入口に碑が建立されました。



## あつみ温泉

Atsumi-onsen

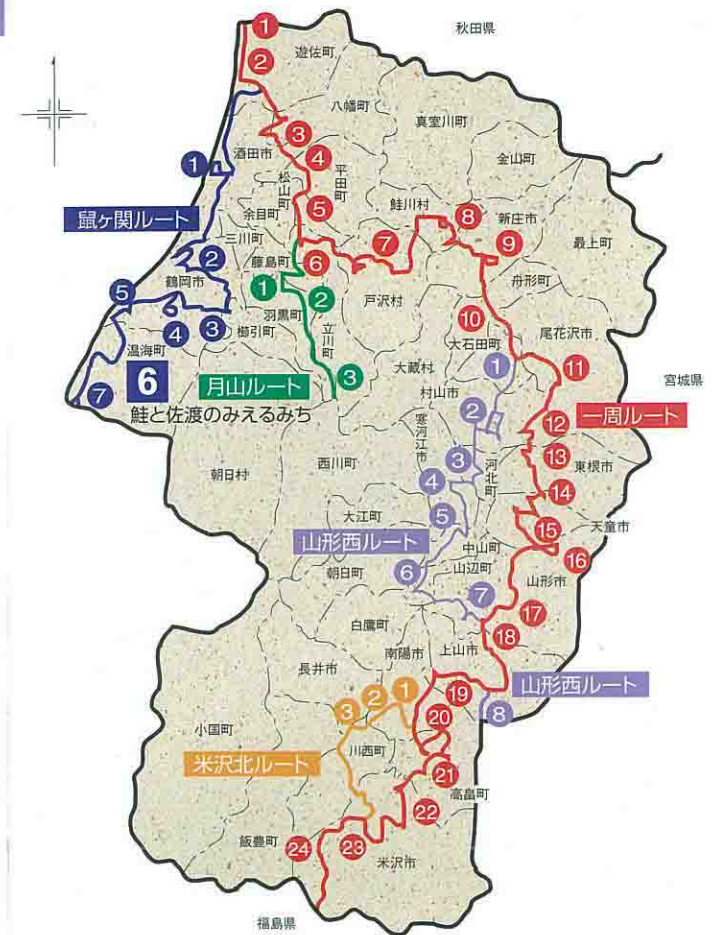
河中に熱湯が噴出したため、「海も温む」ということから名づけられたあつみ温泉は、庄内有数の温泉地として親しまれ、松尾芭蕉を初めとして与謝野晶子、横光利一、斎藤茂吉ら文人にも愛されました。温泉街の中心を流れる温海川河畔には約300本の桜並木があり、川面すれすれまで枝垂れて伸びた桜の姿が独特の美しさを見せています。昔、大火からの復興を願って植えられたのが初まりで、今でも大切にされています。



温海川河畔の桜並木

# YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



## “新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469Kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
  2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
  3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発！

## おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
  - ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
  - ・案内板や休憩所はみんなのものです。大切にしましょう。
  - ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元元融資を受けてつくられました。

## 周辺のアクセスガイド

- 五十川駅までは
- ・JR羽越本線で鶴岡から28分
- ・JRあつみ温泉駅から車で15分
- あつみ温泉朝市通りバス停までは
- ・JR羽越本線で鶴岡から
- あつみ温泉まで26分
- ・JRあつみ温泉駅から車で7分



**観光・宿泊のお問合せ** 温海町観光協会 ☎0235-43-3547  
〒999-72 山形県西田川郡温海町大字温海甲306

温海町観光商工課 ☎0235-43-2111  
〒999-72 山形県西田川郡温海町大字温海戊577-1

**交通のお問合せ** JRあつみ温泉駅 ☎0235-43-2046  
〒999-72 山形県西田川郡温海町大字温海戊446-2

あつみ交通(株) ☎0235-43-3222  
〒999-72 山形県西田川郡温海町温海乙47-1

庄内交通(株)温海出張所 ☎0235-43-3222  
〒999-72 山形県西田川郡温海町温海乙47-1

**コースのお問合せ** 温海町観光商工課 ☎0235-43-2111  
〒999-72 山形県西田川郡温海町大字温海戊577-1

山形県環境保護課 ☎0236-30-2206  
〒990-70 山形市松波2-8-1